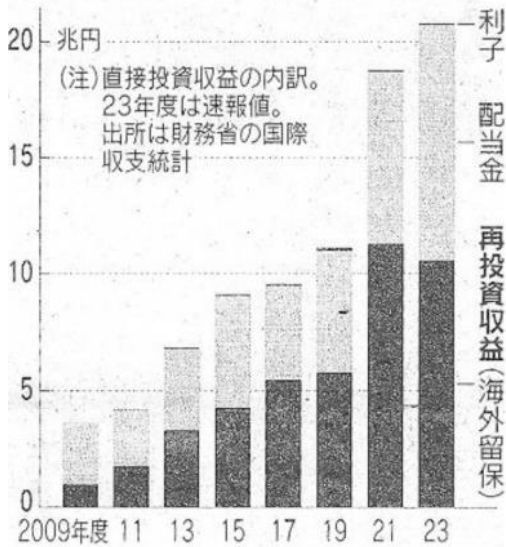


- 05/10・経常黒字、最高の 25.3 兆円 昨年度 資源高一服、貿易が改善 <1>
企業利益、海外に滞留 昨年度 10.5 兆円 還流生む税構想 (リパトリエーション) も
- ・消費支出実質 1.2%減 3月 13ヶ月連続マイナス
 - ・ネタニヤフ氏「単独でも戦う」 米の弾薬供給停止でも
- 05/11・NISA が促す円独歩安 1~4月の対外証券投資 個人 4兆円で最高
- ・中国 EV、南米で台頭 1~4月ブラジル販売 8倍 米欧警戒で流入
 - ・米「国際法違反が妥当」 イスラエル武器使用 「証拠は不十分」
 - ・パレスチナ国連加盟 143カ国が支持 国連総会で決議案採択
 - ・NY株 8日続伸、5ヶ月ぶり 125ドル高 利下げ観測、迫る最高値
- 05/12・中国「過剰供給」、世界と摩擦 EVや太陽光パネル輸出急増 <2><3>
習近平指導部、内需喚起より生産を重視 米、制裁関税上げへ EUも圧力
- 05/14・長期金利、今年最高水準に 日銀、国債買い入れ減額 一時 0.940%に
- ・円安でも沈むトヨタ株 為替安定、再上昇の条件 <4>
3月末比 10%下げ、1ドル=151円から 155円台後半の円安局面で 高い現地生産比率
 - ・グローバルサウス、反イスラエル傾斜 世界の分断浮き彫りに
南ア、国際司法裁判所に提訴 同調拡大 コロンビア、外交関係断絶
 - ・LINE ヤフー資本関係見直し 韓国政府、ネイバー支持
 - ・企業物価 4月 0.9%上昇 銅・原油高騰 価格転嫁進む
 - ・チャット GPT 2倍速く オープン AI 人の反応速度で会話 50言語対応
- 05/15・米、中国 EV 関税 4倍 「過剰生産」批判 半導体や太陽光パネルも上げ <5>
中国「WTOに違反」 バイデン氏「中国の報復想定」も対立は望まず
- ・コロナ貯蓄 3兆円取り崩し 昨年国内、必需品へ支出 米は高所得者が娯楽に
 - ・ネタニヤフ氏、狭まる選択肢 ラファ情勢 休戦協議か侵攻か
 - ・グーグル、検索に生成 AI 無償公開 知りたい情報瞬時に
 - ・政策金利維持「忍耐強く」FRB議長 米物価見極め、なお時間
- 05/16・米消費者物価 3.4%上昇 4月、3ヶ月ぶり伸び鈍化
- ・米消費、減速傾向強まる 小売売上高、4月横ばい
 - ・「日銀は円安圧力緩和を」経済財政諮問会議の要旨 民間議員が注文
 - ・GDP年率 2.0%減 1~3月実質 2期ぶりマイナス 車生産の不振響く <6>
 - ・GDP、昨年度 1.2%増 実質 3年連続プラス 外需が支え
実質 558兆円 個人消費 0.6%減 設備投資 0.4%増 輸出 3.0%増
 - ・日本株 薄れる存在感 全世界株指数から 14銘柄減 円安で時価総額目減り
米 MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (ACWI) 最も増えたのはインド

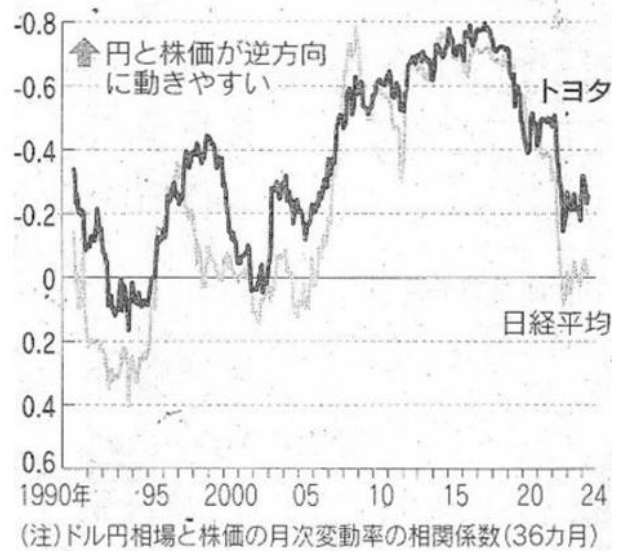
<1>

投資収益の半分が海外にとどまる



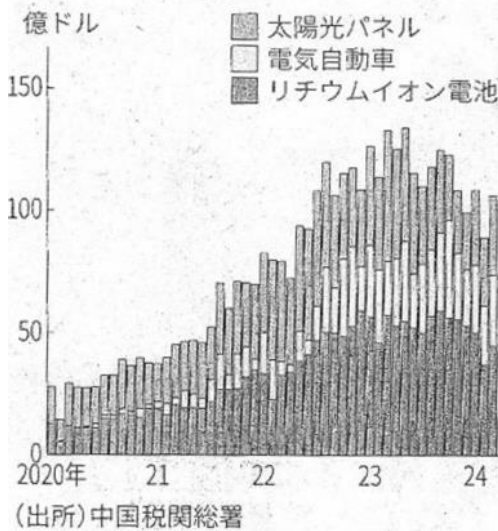
<4>

円安なら株高という関係は失われた



<2>

中国が拡大する3つの輸出品



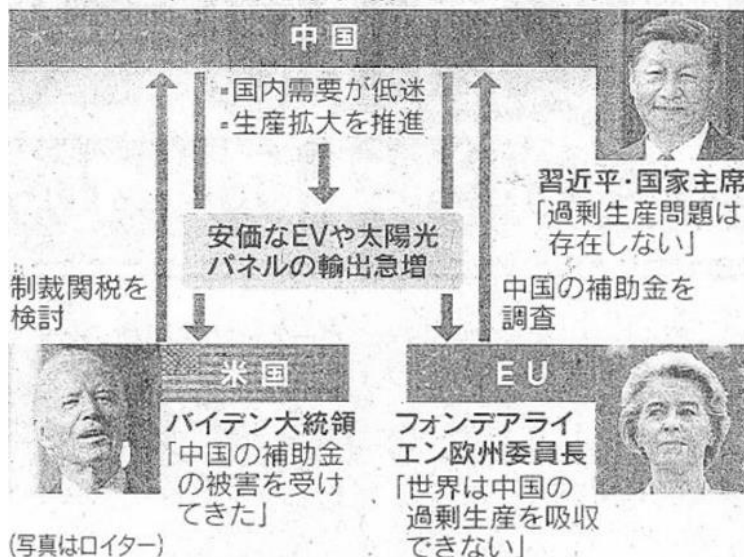
<5>

制裁関税を引き上げる主な品目

品目	現状	変更後	時期
EV	25%	100%	24年
EV用バッテリー	7.5%	25%	
鉄鋼・アルミ	0~7.5%	25%	
太陽光パネル	25%	50%	25年
半導体	25%	50%	
黒鉛・永久磁石	0%	25%	26年

<3>

中国の「過剰供給」をめぐる立場



<6>

1~3月期のGDP増減率の内訳

	実質	名目
GDP	▲0.5(0.0)	0.1(0.7)
年率換算	▲2.0(0.0)	0.4(2.7)
個人消費	▲0.7(▲0.4)	0.2(0.0)
設備投資	▲0.8(1.8)	▲0.0(2.6)
民間在庫	0.2(▲0.2)	0.2(▲0.1)
政府消費	0.2(▲0.2)	0.4(0.2)
公共投資	3.1(▲0.2)	3.9(0.3)
輸出	▲5.0(2.8)	▲3.8(5.6)
輸入	▲3.4(1.8)	▲1.9(4.1)

(注)前期比%、カッコ内は2023年10~12月期、在庫はGDPへの寄与度、▲はマイナス